

# 福島県 林業

No. 550

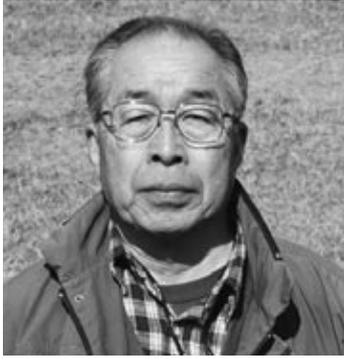
題字 福島県知事 佐藤雄平



6

2010

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■検 知 取 り



# 緑化功労者表彰を受けて

NPO 法人いわきの森に親しむ会  
代表 松崎 和敬

このたび、はからずも緑化功労者林野庁長官感謝状をいただきましたが、なぜ私  
がこのような感謝状を受けることになったのか、正直良くわかりません。経験の浅  
い私の周囲だけ見ても、緑化のために活躍されている方が多くいる中で、果たして  
厚かましく受けていいものなのかどうか悩みました。

そこで、なぜこのようなことになったのか、その理由を自分なりに考えてみて、  
次のような結論を出しました。

森林の持つ多面的機能の重要性が多くの国民に認識されるようになり、国民参加  
の森づくり運動の展開がより一層求められている現状の中で、私たち森林ボラン  
ティア団体の活動を激励するためのものであると思うことにしました。

私たちNPO法人いわきの森に親しむ会のいまままで取り組んできた活動内容が、  
それなりに評価され引き続き努力するようという内容での感謝状と理解し、会の  
代表として有難くいただくことにした次第であります。

私達の団体は、二〇〇一年に森との共生をテーマに開催されたうつくしま未来博  
にボランティアスタッフとして参加した者が中心となって、未来博における経験を  
生かす取り組みをいわき市において展開しようと未来博終了と同時に立ち上げたも  
ので、現在九年目に入っております。

この間、多くの仲間とともに、いろいろな活動を行ってきましたが、まず最初に  
取り組まされたのは、自然観察のためのフィールドの確保でした。幸い行政の理解  
を得ることができ、市街地近くの里山を借りることができましたので、藪化してい  
る里山の整備と安全な活動ができる散策道作りからスタートしました。

当初、自然観察会、ネイチャーゲームなどを中心として市民対象に行ってきまし  
たが、各種自然体験活動、森林環境教育支援、間伐などの森林整備作業などを加え  
て活動の幅を広げました。

現在、目指していることは「安全第一に楽しく」をモットーに、いろいろな山の  
恵みを持続可能な形でいただけるような仕組みを作ることです。これには、自分た  
ちだけでは出来ませんので、多くの方々々と連携しネットワークを作りながら取り組  
んでいく必要があると思っています。

今回の感謝状は会の今後の活動への激励と受けとめ、いままでの活動内容を少し  
でもより良いものにしていきながら、国民参加の森づくり運動に少しでも寄与でき  
るよう努力していきたいと思っております。

## 《も く じ》

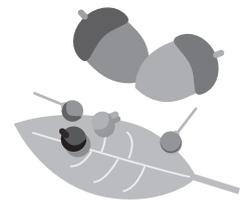
とびら	
緑化功労者表彰を受けて	
NPO 法人いわきの森に親しむ会	
代表 松崎 和敬	1
小さな芽 届け未来へ 緑の力	2
福島県優良建設工事表彰	3
新たなブランド	
「いわきゴールドしいたけ」誕生	4

木づかい名人	5
山村を支える林道事業	6
普及指導員通信	7
木材市況・ふくしま東西南北	8
森連だより	9
森林管理署メモ	10
林協ニュース	11~12
はなしのひろば	13

# 小さな芽 届け未来へ 緑の力



今年の緑化運動のテーマは「小さな芽 届け未来へ 緑の力」  
緑豊かな森林づくりをめざして県内各地で、地方植樹祭や緑に  
親しむ緑の教室、歩こう会などさまざまな行事が行われた。



緑の募金街頭キャンペーンは、4月17日、福島駅東口周辺で行われた。

岡山小学校、佐原小学校、荒井（荒井小学校）、土湯小学校、さくら（佐倉小学校）の各緑の少年団員が参加し、4班に分かれて、道行く人々に元気よく緑の募金への協力を呼びかけた。協力いただいた方々には、緑の羽根とともに、花木の苗や花の種が配られた。



## 募金期間

春の新緑シーズン 4月1日～5月31日

秋の紅葉シーズン 9月1日～10月31日



# 福島県優良建設工事 表彰

平成22年度福島県優良建設工事は、土木部関係で10部門12社、農林水産部関係で6部門7社の受賞が決まった。ここでは林業関係の工事4件を紹介する。

## 治山部門

- 施工業者 〒963-5405 東白川郡塙町大字塙字大町4-6  
深谷建設株式会社 代表取締役 深谷 佳孝
- 事業名 山地災害総合減災対策治山事業 戸倉地区  
東白川郡鮫川村大字西山地内
- 工事概要 山腹工 A=0.24ha
- 寸評

本工事は20年の災害で崩壊した山腹工0.24haの復旧工事であるが、土砂の掘削にあたっては抑え盛土を行い細心の注意を払って排土を施工し、再崩落をおこすことなく現場を完了させている。筋工については、横木の固定に五寸釘を使用することにより精度が向上し、出来映えが優秀である。末端部の巻き込みについても丁寧に施工され、地山との馴染みよい仕上がりとなっている。また、植生土嚢の固定に竹串の利用を提案するなど環境面での配慮が認められる。



## 治山部門

- 施工業者 〒967-0611 南会津郡南会津町山口字堀田791  
大富士建工業株式会社 代表取締役 酒井 秀明
- 事業名 復旧治山（火山）事業 帝釈山地区  
南会津郡檜枝岐村字帝釈山地内
- 工事概要 流路工 L=70.0m
- 寸評

本工事は平成17年度の災害による復旧工事であり、最終年度として流路工70m、床固工2基、帯工1基を設置したものである。現場は仕上がり勾配18%での困難な現場であったが、かご枠のゆがみを防止するため、単管パイプにより吊り枠を設けるなどの創意工夫や、規格に合う詰石の入手が困難な地域であったが、材料を選別して使用するなど丁寧な施工がなされ、鋼製自在枠とかご枠のつなぎ部もすきまなく仕上げしており、全体の見栄え、仕上がりは優秀である。現場は崩壊土砂が堆積した箇所であり、非常に軟弱地盤であったが、降雨対策として常にシート養生を行い、工程に対する影響を最小限に抑え、短期間で工事を完成させている。



## 林道部門

- 施工業者 〒963-6131 東白川郡棚倉町大字棚倉字南町20  
藤田建設工業株式会社 代表取締役 藤田 光夫
- 事業名 ふるさと林道緊急整備事業 鍛木田一本木Ⅱ地区  
東白川郡塙町大字東河内字権現地内
- 工事概要 道路工 L=220m W=4.0/5.0m
- 寸評

本工事は、山間部の急峻な地形での林道改築工事であるが、路体・路床の転圧を複数の重機を併用し、仕上厚も通常の1/2程度とすることにより、路体90%、路床93%以上の密度を確保するなど徹底した品質管理を行っている。また、大型土のうを設置して落石や土砂の流出を防止し、気泡抜き取り器具を使用してのコンクリート表面の気泡痕低減、擁壁戻戻時に土質改良材を用いて埋戻土の強度向上を図るなど、出来型、品質、出来映えの向上に会社としての努力が認められ優秀である。無線機による上下作業の未然防止やクレーン作業時の強風対策として風力計を設置するなど安全対策も評価できる。



## 特殊構造物部門

- 施工業者 〒960-8610 福島市泉字清水内1  
佐藤工業株式会社 取締役社長 加藤 眞司
- 事業名 ふるさと林道緊急整備事業 大霊山地区  
伊達市霊山町石田字荷立場地内
- 工事概要 橋梁下部工 N=2基
- 寸評

本工事は、ふるさと林道の橋梁下部工2基を山間部の狭隘な箇所において施工したものである。工事は、同一路線内で隣接した他工事と調整を図りながら施工されており、綿密な工程管理により冬期間のコンクリート打設を避け品質確保に努め、曲線部の縦横断勾配に対応した複雑な構造の橋台であるが優秀な出来映えとなっている。また、現場における安全管理も徹底され、掘削法面の養生に透明シートを使用して地山の確認を行いながら施工するなど、安全確保と施工の円滑化に努めている。加えて社会貢献の一環として福島市内の高校生の現場見学会と測量実習に施工箇所を提供している等優良な工事である。





生産施設全景

## 新たなブランド 「いわきゴールドしいたけ」 誕生

### ●いわき農林事務所森林林業部



いわきゴールドしいたけ

いわき農林事務所管内におけるしいたけの生産量は、年々減少して平成二〇年度は二〇tとなり、市内のスーパーなどで販売されているしいたけのほとんどは、いわき市外で生産されたものとなっていました。ところが最近、スーパーなどで「いわきゴールドしいたけ」のラベルを貼った、生しいたけがよく見られるようになりました。

「いわきゴールドしいたけ」を生産している、農事組合法人いわき菌床権茸組合（理事長 磯上浩二）は、平成二〇年七月に、管内のきのこ生産者や農家、建設業からの新規参入者など八名を構成員として設立されました。

組合では、消費者の多様なニーズに対応し、安全・安心な生しいたけの生産と供給により、新たな雇用の創出と地域の振興を図るため、年間約二五万菌床、生産量二〇〇tの生産計画で、菌床の製造から培養・発



パック詰め作業

生・出荷まで、一貫した菌床しいたけ生産施設を整備することとなりました。

生産施設は、平成二一年度の森林・林業・木材産業づくり交付金を活用し、いわき市渡辺町泉田字花立地内に、事業費約五億二千万円をかけて、オガ置き場、培養施設、生育棟、選別包装施設、機械等を整備することになり、平成二一年一月に県内有数の菌床しいたけ生産施設が完成し、一二月から生しいたけの生産が始まりました。コンピュータ管理された清潔な施設から生産される肉厚の生しいたけは、「いわきゴールドしいたけ」と名付けられ、県内各地の青果市場やスーパー等に出荷されています。

従業員は、生産が始まった一二月

から雇用を開始し、その後生産量にあわせて従業員を順次増やしていきましました。当初は、新規高卒者を含めて地元より三五名を雇用する計画でしたが、新規高卒者の就職が厳しいことを受け、新規高卒者の採用を大幅に増やして一七名を雇用したことから、現在の総従業員数は四九名となっています。

組合では、観光ルートの一つとして当該施設を位置づけて、管内の観光地（アクアマリンふくしま等）と連携し、観光・農林水産業が一体となった地域の振興を目指しており、敷地内に直売所を自力で設置するとともに、施設見学会を開催して見学者の受け入れを行っています。

さらに、高品質な生しいたけを効率的に生産するため、生産サイクルの見直しや室内温度などの発生条件等の検討を繰り返し行うとともに、需要が増加している「いわきゴールドしいたけ」の生産拡大のため、生産施設の増設についても検討しています。

今後、施設の増設や新たな生産者の参入等により、生しいたけをはじめとするきのこ類の生産拡大により、きのこ類の産地が形成されて地域振興に大きく寄与することが期待されています。

# 木づかい名人 ヴァイオリン工房のご夫婦

森林総合研究所森林農地整備センター  
福島水源林整備事務所長

佐藤 宏 行



久性や強度、弾力性、比重、粘性、硬度、音響特性、加工性、木目の美しさなどが思い浮かびます。

それぞれの木の特性を熟知して、五五に及ぶパーツを加工して組み合わせ、優れた音色や音質を引き出す技術はまさに「木使い名人」です。

楽器は出来上がった後も更に乾燥することによって、木の繊維や細胞の結合力が強まり、弾力性が高まります。

すると木は音の振動をより鋭敏に伝えるようになります、音質が向上するのだそうです。

板を薄くすると鳴りやすくなりますが、木材疲労して腰砕けし易くなります。

逆に厚すぎると何年経っても良い響きが得られません。

もう一削り薄くするかどうかでいつも悩むんですよと話してくれました。

製作や修理の際は、福島的气候や楽器が演奏される場所等も考慮する

のだそうです。

店の名前はグリユネ・シュルツェ（みどり色の前掛け）といいます。二人が学んだ学校では、ドイツ系の製作技術を教えてくれたそうです。

ご承知のようにドイツでは、マイスター制度のもとで刃物職人やビール職人、パン職人、花職人など様々な手工業の職業教育が行われていました。

同じ職業の職人達は同じ色の前掛けを掛けることが多かったそうで、楽器職人が付けていた前掛けの色はみどり色。

（学校で学び始めたときの初心を忘れない）という思いのこもった、店の名前なのだそうです。

「楽器も怪我をしたり風邪をひいたりすることがあります。」

「体調不良で持てる力を発揮できないでいる楽器もあります。」

そんな時、気軽に相談できるホームドクターのようなお店にしたいのだそうです。

福島稲荷神社の鳥居前の小さな店に、音楽県「福島」を下支えする若き職人がまた二人育っています。

グリユネ・シュルツェ

（〇二四一五二一―一六五五）

店の扉を開けると仄かに木の香りがしました。

マツ材とカエデ材、これらはこのお店の商品の主要な材料です。

さらに「黒檀」と聞くと、もうピョンと来た人が居るのではありませんか。

そうです、ヴァイオリンやチェロなど弦楽器のお店です。

ご主人も奥様も共に弦楽器製作の職人さんです。

東京のヴァイオリン製作学校で技

術を学び、製作や修理を専門とする楽器店で修行を重ねた後、生まれ故郷を離れて、このたび福島に根を下ろす覚悟で開店したそうです。

「何で福島なの？」と聞いてみると…。

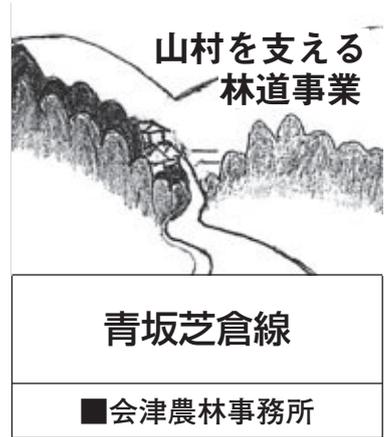
「旅行で訪れて好きになった。」「文化や芸術の香りに惹かれた。」「ごく自然に福島になっていった。」

言うまでもなく、弦楽器は使用する木材が非常に重要です。

楽器に関する木の特性というと耐



青坂芝倉線



はじめに

平成七年度に着工した林道「青坂芝倉線」は、一四年の歳月をかけ平成二〇年度に全線の工事を完了し、昨年六月二三日に地元実行委員長主催（田崎眞平実行委員長）による開通式が盛大に開催されましたので、路線の概要・開設経過等について紹

介します。

### 路線の概要

本林道は、西会津町大畑地内の国道四九号線を起点として、西会津町前山地区内の林道「長窪芝倉線」に連結し、この林道を経由して国道二五二号線に通じるもので、総延長一〇、七七六メートル、全幅五、六メートル（アスファルト舗装）となっています。起点から青坂集落までの生活道路としても活用される区間では、全幅六メートルにより実施されています。

また、利用区域の森林面積は八二八畝となっています。

### 事業実施の背景

本林道を開設する直接的な目的と背景は、次のとおりです。

### ○流域のネットワーク化

利用区域内には青坂、程窪、泥浮山、長桜、小杉山の五つの集落が存在し、それぞれの集落への国道からのアクセスは突込みによる既設林道があるのみで、地域路網としての形成がなく、適切な森林管理を行う上からも流域のネットワーク化が必要であったこと。

### ○森林施業の効率化

本地域の森林施業は、林道等が未整備であったため小規模・分散型の形態となっており、利用区域内に循環型の幹線林道を開設することにより、これを骨格として支線や作業道を配置することで高密度な路網が形成され、高性能林業機械の導入による効率的な作業システムの構築が可能となること。

### ○集落の生活環境の改善

利用区域内の五つの集落は分散しており、国道等を介さなければ連絡することができない状況であったため、本林道の開設により直接連絡するネットワーク化を図り、それぞれの集落が災害時に孤立化しないように迂回路を形成すること。また、現道は急勾配に加え、幅員も狭く、半径も小さいなど生活道として通行に支障を来しており、これを解消する必要があったこと。

### 事業の経過

本林道の事業着手は、平成七年度に県営の広域基幹林道、現在の「森

林居住環境整備事業」の森林基幹道として国庫補助事業の採択を受け、翌年から工事に着手しています。

平成一〇年度からは「ふるさと林道緊急整備事業」を導入し、以後、国庫補助事業と併せて事業の推進を図ってきました。

総事業費は、一八億七、五〇〇万円、うち森林居住環境整備事業分が九億二、二〇〇万円、ふるさと林道緊急整備事業分が九億五、三〇〇万円となっています。

主要構造物としては、橋梁一カ所（延長四〇メートル）がありますが、その他は土工が中心の構造物が比較的小さい構造となっています。

また、林道利用区域内の森林整備の状況については、着工から昨年末までに、延べ面積二四六畝で整備を実施しており、内訳は、下刈り等の保育が一三五畝、間伐一〇一畝、主伐五畝、造林五畝となっています。

### おわりに

本林道開設の目的であった「流域のネットワーク化」、「集落の生活環境の改善」については、事業完了により概ねその目的を達成したところですが、「森林施業の効率化」についてはこれからが正念場であり、林道開設の意義が問われる段階に来ていると考えています。

最後になりますが、本林道開設に携わられた多くの方々に深く感謝し、工事完成の報告とさせていただきます。

## 林業労働安全講習会～めざせ、ゼロ災～

■ 県南農林事務所

去る4月16日に、東白川郡森林組合の職員及び技術員を対象に林業労働安全の講習を行いましたので、その内容を報告します。

東白川郡森林組合では、毎年、年度当初に林業労働安全大会を行っております。その内容は林業労働安全講習のほか、年によって救急法や健康チェックの講習も併せて行われます。

林業労働安全講習の講師は、同組合の依頼を受け、毎年当事務所職員が行っております。今年も、林業労働担当である菊池主査が講師となりました。

講習内容は、伐木造材作業の安全がテーマで、伐倒

作業の基本やかかり木の処理、緊急連絡体制の整備のほか、労働災害発生状況です。

なかでも今回講習内容に加えたことは、緊急連絡体制の整備です。災害発生を未然に防ぐだけでなく、災害が起きてしまった場合の被害を最小限にとどめるための体制について、連絡方法や連絡手段の周知、連絡責任者の設定が必要であることを説明しました。

最後に、新人技術員からベテラン職員まで参加者45名が全員で「めざせ、ゼロ災」を唱和し、講習会を終了しました。

（林業普及指導員 加藤 修）



講習状況



指差し呼称

## 「まさじいのさらだうるい」収穫始まる

■ 相双農林事務所

中山間地域における山菜等の特産品化を目指し、相双地方管内で様々な取り組みを展開している「こだわり山の幸研究会」は、5月15日（土）に会員やレストランのシェフら約20名が参加し、同会の栽培指導にあたっている飯館村の菅野昌基さん方で今年最初のウルイ（オオバギボウシ）の収穫を行いました。

「まさじいのさらだうるい」は、「森の名手・名人」にも認定されている菅野昌基さんの考案した栽培方法（軟化栽培）で、定期的に春と秋に栽培技術の研修会を開催し、管内各地の会員により栽培が進められています。

今年は春先に寒い日が続き生育が遅れたこともあって、この日商品化できたウルイは、12kg（150g／袋×80袋）程度でしたが、サラダでも食べられるほど柔らかく甘みのあるものとなっています。

商品は、東京都江戸川区の県アンテナショップ「ふくしま市場」に出荷されましたが、今後収穫されるものについては、県内外のレストラン等にも出荷される予定です。

皆様もぜひ「まさじいのさらだうるい」をご賞味ください。

（林業普及指導員 伊藤正一）



収穫状況



「まさじいのさらだうるい」

# 木材市況

## 素材の価格〈工場着価格〉(4月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8(8~9)	0	(9~9)	0	7(5~9)	0	8(5~9)	0
		10~13		並	スギ	10(9~12)	0	9(8~9)	1	8(7~10)	0	9(7~12)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	12(11~13)	0	11(11~12)	0	11(11~11)	0	11(11~13)	0
				並	ヒノキ	19(17~21)	1	(~)	-	17(16~18)	△2	18(16~21)	0
		6.00	並	スギ	18(16~20)	0	18(18~18)	0	16(15~16)	0	17(15~20)	0	
			並	ヒノキ	24(24~24)	0	(~)	-	24(22~27)	△3	24(22~27)	△2	
	20~28	3.65	並	スギ	14(12~17)	1	12(11~12)	0	12(12~12)	0	13(11~17)	1	
		4.00	並	アカマツ	10(8~11)	0	10(10~10)	0	11(10~11)	1	10(8~11)	0	
		1.80	並		8(5~10)	0	(~)	-	8(7~9)	0	8(5~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	(~)	-	(~)	-	24(23~24)	1	24(23~24)	1
並				米マツ	25(22~28)	0	26(26~26)	0	25(23~26)	0	25(22~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(~)	-	(~)	-	23(20~25)	0	23(20~25)	0	
			並	ベニマツ	28(28~28)	0	22(22~22)	0	21(21~21)	0	23(21~28)	0	
南洋材		70~90	8~14	並	ラワン	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-
				並	アガチス	(~)	-	(~)	-	(~)	-	(~)	-
パルプ用材	-	-	並	マツ	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	
			並	広葉樹	(~)	-	(~)	-	6(6~6)	0	6(6~6)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(~)	*	9(8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	(~)	*	8(7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	(~)	*	11(10~11)	0

注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

三月の原木市場への入荷状況は、前月比で三二六割増(前年比三三三割増)の二五、九八五立方メートルとなっている。  
 販売量については、前月比では二八八割増(前年比三〇割増)の二五、二九五立方メートルとなっている。  
 入荷量、販売量ともに取扱量は前月、前年比で増加している。四月の価格については、弱保合である。



会津鉄道車両(会津田島駅にて)

三月までは新幹線通勤、時速二五〇キロの風景の流れを見ながらの通勤でした。四月から南会津に赴任することになり、久しぶりにゆつくり列車でもと思い、帰省の際に会津鉄道を使ってみました。風景がゆつくり動く鈍行の旅のようで、このぼんやり時間がなんとも良いのです。  
 会津鉄道は、皆さんご存じのとおり旧国鉄時代の会津線を転換した第三セクター方式の鉄道です。会津若松駅から会津田島駅までの所要時間は約一時間。会津盆地の田園風景が芦ノ牧温泉、大川ダム付近から阿賀川を遡る溪谷の風景へと変化していきます。南会津の大川ラインは、山



### 南会津の車窓から

南会津農林事務所森林林業部  
 林業課長

柳田 範久

が迫り谷が深いので、本当に「やまなみ」を感じます。

四月は、白い雪と広葉樹の葉の展開前の山が水墨画の様相、最近では、広葉樹の黄緑色とスギなどの深緑のコントラストに富んだ風景に変化してきました。四季の移り変わりを手に取るように感じる事ができ、管内の森林の状況に思いを巡らしながら、ゆつくり山を眺めます。

辰濃和男氏が「ぼんやりの時間」(岩波新書)の中で、「目標に向かつてひたすら走る人間が、その生気や活力をよみがえらせ、みずみずしい感性を取り戻す上で、時折ぼんやりすることは欠かせないのではないかと書いていました。常に時間に追われている我々現代人にとっては、贅沢な時間かもしれないませんが、みなさんも「ぼんやりの時間」を作ってみてはいかがですか。

なお、会津鉄道には、芦ノ牧温泉駅のネコの名誉駅長や湯野上温泉駅の茅葺き屋根の駅舎、大内宿、塔のへつりなど観光スポットも多くありますよ。

森連だより

第59回通常総会  
開催される



本会の第五九回通常総会は、去る五月二七日、福島市杉妻会館において開催されました。国井常夫代表理事会長の挨拶に続いて系統利用優良組合・永年勤続役員職員の表彰と本会退任役員へ感謝状の贈呈が行われました。議長には、渡辺一夫・ふくしま中央森林組合代表理事組合長が選出され、議事に入りました。

二一年度の決算では様々な課題を抱えつつも、事業量の確保拡大を図るとともに、経費の節減に懸命な努力の結果、剰余金を計上することができ、満場一致で議案が承認されました。



された森林環境税を財源とする森林整備や国の森林吸収源対策の実施により、国有林野事業、水源林造林等、事業の拡大が期待されております。

このような情勢の中、森林組合系統は地域に根ざした協同組合として、「環境と暮らしを支える森林・林業・山村再生運動」の取り組みを通じて森林・林業の担い手としての責務を果たしていくため、新たな「第三次経営改善三カ年計画」のもと、計画事項の確かな実行を通じて経営並びに財務収支の改善を期するため、役員一丸となり事業に取り組みることとした事業計画が承認されました。各部門の事業計画は次のとおりです。

◎指導部門

- ① 環境と暮らしを支える森林・林業・山村再生運動
- ② 「福島県森林組合運動方針・目標」の実行
- ③ 森林組合連合会経営改善計画の策定・実行
- ④ 森林組合広域合併の推進
- ⑤ 森林組合事業拡大の支援推進
- ⑥ 森林環境税を財源とする森林づくりの推進
- ⑦ 森林整備担い手対策基金事業の推進
- ⑧ 指導監査の実施と事後指導の実施
- ⑨ 緑の雇用担い手対策基金事業の取りまとめ、指導

- ⑩ 施業集約化の推進
- ⑪ 森林林業振興大会(共同)
- ◎販売部門
- ① いわき木材流通センター、会津共販取扱量の拡大
- ② 間伐材の有効利用と販売体制の強化
- ③ パルプ材、しいたけ原木の系統販売の強化
- ④ 合板材等の直送化の推進
- ⑤ 森林組合木製品、林産物の販売拡大
- ⑥ 異業種との連携強化
- ◎森林整備部門
- ◎利用
- ① 森林調査、治山・林道測量設計業務の拡大
- ② 木製品の活用など環境整備事業にかかる系統事業の拡大
- ③ 調査、測量設計、施工管理技術の向上
- ④ 森林境界明確化促進事業の推進
- ⑤ 低コスト林業経営実証事業の推進
- ⑥ 各種調査の実施
- ⑦ 森林国営保険の加入促進と損害調査の迅速化
- ⑧ 各種保険の加入促進
- ◎購買
- ① 優良苗木の確保
- ② 林業用資材、機械、森林病虫害防除用資材の取扱拡大
- ③ 生活関連物資の取扱拡大
- ④ 森林組合グリーンニューデール事業の推進
- ◎金融
- ① 森林組合事業資金の確保と貸付
- ② 制度資金の普及と貸付業務の迅速化
- ③ 続いて、理事の辞任に伴う役員補選が行われ、次の一名が選任されました。
- 理事 船木 秀晴

また、総会においての表彰者は、次のとおりです。

【表彰者名簿】

- 平成二一年度系統利用優良組合
- 販売部門 飯館村森林組合
- 購買部門 会津若松地方森林組合
- 森林保険部門 いわき市森林組合
- 感謝状贈呈
- 湯田八代治・佐久間 肇
- 功労者表彰
- 永年勤続役員(勤続二年以上)
- 神田英雄・渡辺甲子雄・二瓶良一・石井昌一(ふくしま中央森林組合)、黒羽清・佐久間潔・美輪徳治(田村森林組合)、藤田忠勇・長田勝重(東白川郡森林組合)、芳賀一郎・星昇・芳賀芳男・星寛(館岩村森林組合)、高萩健次(東白川郡森林組合)
- 永年勤続職員(勤続三〇年以上)
- 菅野孝(田村森林組合)、長谷川淳子(郡山市森林組合)、熊谷達也・草野幸子(いわき市森林組合)、菅野重廣(飯館村森林組合)
- 永年勤続職員(勤続二〇年以上)
- 鈴木秀彦(福島県北森林組合)、磯貝健(郡山市森林組合)、石井和正・宗像勝一、吉田一郎(ふくしま中央森林組合)、渡部誠寿、鈴木喜義・金子茂樹(会津若松地方森林組合)、松崎保夫(いわき市森林組合)、木幡良勝(飯館村森林組合)
- 永年勤続技術班員(勤続五年以上)
- 斎藤守生・角田克紀・遠藤進一・佐藤丈史・山田武一(福島県北森林組合)、増子裕樹・横田信夫・関根秀康・佐藤栄一(郡山市森林組合)、遠藤征・久家英真(会津若松地方森林組合)、長谷川文明・田部政人・高橋悟(西会津町森林組合)、星光政・大山高見・湯田巖(館岩村森林組合)、岩瀬利春・佐川俊吉・松田勝美・大井川光良・渋谷光昭・富田博(いわき市森林組合)

森林管理署メモ

## 国有林を活用した 森林学習について



分収造林による森林づくり体験—倒木起こし

森林に対する国民のニーズは多様なものとなり、水源かん養、土砂流出の防止、木材生産などといった従

来からの期待に加え、近年では、地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収源、生物多様性の保全のための役割といった最近注目されるものとしての期待が高まっています。



会津森林管理署  
南会津支署

このような状況で、多くの地域で様々な知識を有される方々が、森林における活動を行い、森林の働きの理解促進を通じ、健全な森林の保全や育成の必要性についての普及啓発に努めておられます。

会津森林管理署南会津支署管内の国有林は、日本有数の豪雪地帯で冷温帯に属する森林が多い特徴に起因する森林が形成されてお

り、また、天然林が九割以上を占めるなど豊かな森林生態系が育まれる森林が多く、地元の方のみならず多くの方が登山、釣り等を通じて森林を利用されております。

このような実態に即し、国有林の管理経営についても、管内の国有林の約七割を奥会津森林生態系保護地域に指定し木材生産を目的とする森林施業を行わないこと、その他の多くの森林も緑の回廊に指定し野生動物の生息・生育地を結ぶ移動経路を確保するため天然林の保全や人工林の間伐等を通じ生物多様性の保全に向けた取り組みを行うこととするなど、近年高まっている要請にも応じたものとしておられます。

会津森林管理署南会津支署では、このような独特な特性を持つ森林を有する地域の子供達に対し、森林が大きな価値のあるものであることを認識し、森林を有する本地域への誇りを醸成することをテーマとし、森林の果たす役割をより体感できるものとすべく森林教室等の森林環境教育に臨むこととしております。

具体的には、天然林の観

察を通じた樹木の特性や自然の営みへの理解の促進、人工林における測量や間伐等の林業体験を通じた森林づくりへの理解を進めることのみならず、今年度は、測樹を行い樹木への二酸化炭素の蓄積量を計算することを通じ森林が地球温暖化防止に果たす役割を体感できるメニュー、水源かん養機能や土砂流出防止機能を体感できるメニューの実施など、より森林の果たす役割を具体的な形で体感できるものとなるよう、工夫を凝らしながら進めていくこととしております。



高校生による間伐体験

林協ニュース

# 第40回通常総会 開催される



浅和会長のあいさつ

第三九回通常総会は、五月二四日午後一時三〇分より、福島市のウェディングエルティで、来賓、会員等約一〇〇名が出席して開催された。まず、浅和定次会長があいさつを述べ、続いて、永年にわたり役員として尽力された小沼昇氏、小松昭一

## 平成21年度優良森林土木工事等表彰者名簿

### 1 林道維持管理コンクール (6件)

管 理 者	対 象 路 線 名
福島市長 瀬戸孝則	割石線
西郷村長 佐藤正博	下羽線
下郷町長 湯田雄二	松坂線
南相馬市長 桜井勝延	落葉松線
広野町長 山田基星	五社山・黒森大内線
いわき市長 渡辺敬夫	母成線

### 2 優良森林土木工事

#### (1) 治山事業の部 (6件)

工 事 名	工 事 箇 所	表 彰 者 名
復旧治山 (妙縁端)	郡山市湖南町	渡富建設(株) 代表取締役 渡部 勲
山地災害総合減災対策 (戸倉)	東白川郡鮫川村	深谷建設(株) 代表取締役 深谷 佳孝
水源流域地域保全 (大沢)	耶麻郡猪苗代町	渡部産業(株) 代表取締役 渡部 寛規
奥地保安林保全緊急対策 (三田山)	南会津郡只見町	美馬建設(株) 代表取締役 美馬 典昭
復旧治山 (大木戸川原)	双葉郡富岡町	双葉工業(株) 取締役社長 坂本 真理子
復旧治山 (餓鬼堂)	いわき市平簿磯	(株)山一緑化土木 代表取締役 四ツ倉 理雄

#### (2) 林道事業の部 (7件)

工 事 名	工 事 箇 所	表 彰 者 名
森林居住環境整備 (大霊山)	伊達市霊山町	大沼林産工業(株) 代表取締役 大沼 生
森林管理道整備 (戸渡藤沼)	須賀川市	(株)赤羽組 代表取締役 赤羽 隆
ふるさと林道緊急整備 (板庭入宝坂)	東白川郡塚町	藤田建設工業(株) 代表取締役社長 藤田 光夫
森林居住環境整備 (大滝)	大沼郡会津美里町	(株)丸庄工務所 代表取締役 荒川 英紀
森林居住環境整備 (富沢不動沢)	南会津郡南会津町	(株)星組 代表取締役 星 公正
森林管理道整備 (柳窪大倉)	相馬郡飯館村	庄司建設工業(株) 取締役社長 庄司 公正
森林居住環境整備 (永井川前)	いわき市三和町	堀江工業(株) 代表取締役 長谷川 隆弘

### 3 優秀工事監督者 (12名)

所属事業所	表彰者名	所属事業所	表彰者名
大沼林産工業(株)	菅野 幸夫	(株)丸庄工務所	田辺 昌幸
渡富建設(株)	柏木 寅三	美馬建設(株)	横山 益男
(株)赤羽組	佐久間 一夫	(株)星組	平野 浩三
矢祭建設(株)	小松 茂治	庄司建設工業(株)	大和田 直樹
藤田建設工業(株)	齋藤 孝治	双葉工業(株)	坂本 一光
荒井建設(株)	塩見 清和	(株)山一緑化土木	草野 秋秀

氏、兼子恵治氏に感謝状が贈られた。次に、林道維持管理コンクールの優良森林土木工事、優秀工事監督者の表彰が行われ、各部門の代表者に

来賓紹介、祝電披露のあと、古川道郎川俣町長を議長に選出し、議事が進められた。議事では、議案第一号 平成二一

年度収支補正予算専決処分承認に



賞状と記念品が贈られた。ついで、来賓の福島県知事(代理 松本友作副知事)、福島県議会議長(代理 瓜生信一郎副議長)、吉野正芳衆議院議員、石原洋三郎衆議院議員、岩城光英参議院議員、金子恵美参議院議員、白杵徳一関東森林管理局長、日本林道協会会長(代理 瀧川忠昭事業部長)から祝辞をいただいた。

副会長/津金要雄(県町村会副会長、猪苗代町長)、理事/湯田雄二(下郷町長)、桜井勝延(南相馬市長)、渡辺敬夫(いわき市長)、野尻榮一(県農林種苗農業協同組合代表理事組合長)

# 第7回 ふくしま森林・林業 写真コンクール

応募締切 平成22年 (当日消印有効)  
9月21日(火)

作品募集

(社)福島県林業協会では、下記のとおり《ふくしま森林・林業写真コンクール》を開催しています。皆様のご応募をお待ちしています。

**テーマ** | 下刈、間伐等の森林整備作業・木材の利用・特用林産物(炭焼き、きのこ栽培、漆等)・里山風景・森林レクリエーションなど森林・林業に関わりのあるもの。

**応募資格** | アマチュアに限ります。

**作品サイズ** | カラープリント 四ツ切・ワイド四ツ切(デジタルカメラ撮影も可)

**審査員** | 主催者、後援者の代表、専門家等によって審査します。

**発表** | 入賞者には平成22年10月頃直接通知します。表彰は「福島県林業祭」の林業コンクール等表彰式で行います。

<b>賞</b>	●最優秀賞(県知事賞)……………1点 賞状 賞金(3万円)	●入選……………5点 賞状 賞品
	●優秀賞(林業協会長賞)……………3点 賞状 賞金(2万円)	●佳作……………5点 賞状 賞品
	●特別賞(林業会館理事長賞)…1点 賞状 賞金(2万円)	

**応募上の注意** | 自作の未発表の作品に限ります。  
森林整備作業等では労働安全に配慮されているものとします。  
応募点数に制限はありませんが、入賞は1人1賞とします。  
応募作品には、題名、撮影場所、撮影年月日、住所、氏名、電話番号、年齢、職業、を記入した応募票(自作可)を添付して下さい。  
入選者はネガを提出していただきます。デジタルカメラの場合はデータをCDにおとしたもの。  
入賞作品の著作権は主催者に帰属し、「林業福島」等の広報誌に使用させていただきます。  
原則として応募作品は返却いたしません。

**送り先 問い合わせ先** | 〒960-8043 福島市中町5番18号 社団法人 福島県林業協会 管理課  
電話 024-521-3245 FAX 024-521-3246

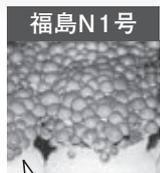


- ◇ 「『森と水』の関係を解き明かす」 蔵治光一郎著 定価2,310円
- ◇ 「集約化の壁はこうしてブチ破れ」 湯浅 勲著 定価1,995円
- ◇ 「森と暮らすNo.5 林業入門 自家伐出のすすめ」 全国林業改良普及協会編 定価1,890円
- ◇ 「森と暮らす 家族でつくる森林ガーデニング入門」 全国林業改良普及協会編 定価1,995円
- ◇ 「知ってほしい 森と木のこと2010」 林野庁編集 定価 500円
- ◇ 「森林施業計画ガイドブック一部改訂版」 林野庁監修 定価3,360円

■発行：社団法人全国林業改良普及協会  
■お申込：社団法人福島県林業協会  
〒960-8043 福島市中町5-18  
TEL024-521-3245 FAX024-521-3246

## きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量



大型・滑り少

●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富



- その他各種種菌
- 菌床
  - ・シイタケ
  - ・ハタケシメジ
  - ・ムラサキシメジ等
- マイタケホダ木 ○栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org



## 大所帯の経験を生かす

若葉茂る水無月は、牡丹に次いで芍薬が咲き乱れる好季で、私の大好きな月である。『立てば芍薬座れば牡丹歩く姿は……』は美人の形容詞で、続いて咲く百合の花も七〜八月に艶やかな姿と香で和ませてくれる。水無月が好きなのは私の誕生日という事もある。ところで、昔は水無月は田植えやその準備で猫の手も借りたい程の農繁期であった。臨月の母が田植えの忙しさにお腹の事を忘れており、田植えの帰りに転んで私が生まれたと誕生秘話を懐かしそうに語ってくれた母も今はこの世にはいない。

当時、実家は稲作中心の農家で米の豊凶が一家の暮らしを大きく左右した。農繁期は家族や親戚に加え町内の懇意の方などを総動員し、『結い』と合わせ農繁期を凌いで来た。子供達も農繁期は田圃の水回りや苗運び等で遊びに興じる余裕は全く無かった。この様な環境と生めよ増やせよの施策により、私は大勢の兄弟姉妹の大家族で育ち、怪我をしないう喧嘩や納め方、我慢と譲り合いの心など、人間形成に貴重な体験をして育った。

昔の水田地帯は雪が解けると全戸で堀さらいや道普請を行い、農閑期は各種行事や催しのため、寄り合い(会議)が多かった。会議には関係者が出席し、地域の問題を解決するなど運命共同体を再確認した。酒を酌み交わす機会が多かったが争う事を見た事は無い。『結い』は労働交換に止まらず、お互いの信頼を深める役割も担っていた様である。

私は町内会長として六年目で、纏まりのある活動が周辺地域から注目を浴びているが、会長を先頭に、役員の積極的な行動が会員や地域に安心感と好感を持たれているらしい。

会員数は二〇〇余戸だが、世代交替や若い会員の加入が進んでいる現状から、若年会員層への対応が課題と思われるので、若者の心に飛び込み真剣に対応したいと考えている。組織を運営するのは人であり、会員が心を開き、お互いの心を理解し合えば組織は限りなく発展すると確信している。私は今後も団体などの運営に当たり、これまで同様大所帯の暮らしで培った体験を基に組織の活性化に二層努力したいと考えている。

佐藤微風

## 表紙の横顔



### 検知取り

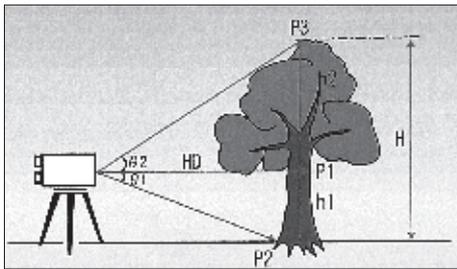
第6回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選となった鈴木紀秀さん(棚倉町)の作品。

### 編集

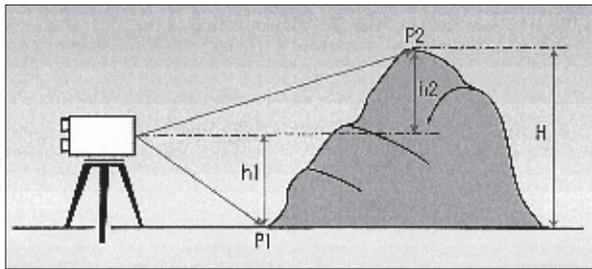
福島県内四森林管理署  
福島県林業協会  
福島県森林組合連合会  
福島県木材協同組合連合会  
福島県緑化推進委員会  
福島県農林種苗農業協同組合  
福島県農林業公社  
森林総合研究所福島水源林整備事務所  
福島県林業協同組合  
福島市中町五番一八号県林業会館内  
発行人 渡辺卓  
発行 陽光社印刷株式会社  
(定価 六三円)

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

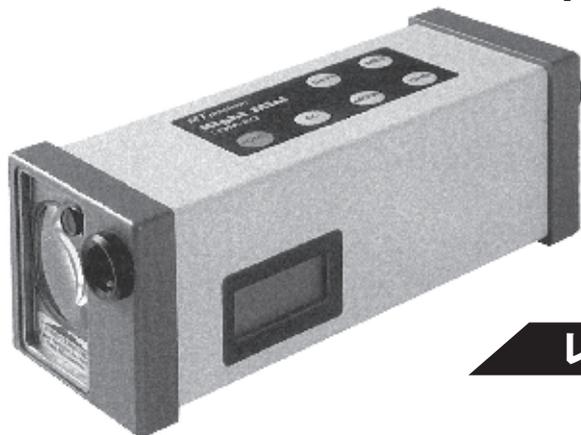


2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定法	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

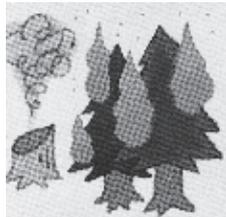
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



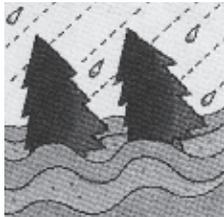
## 1 火災

山火事で受けた損害



## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



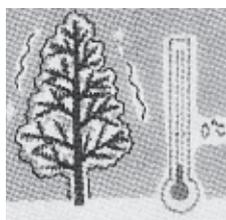
## 4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

## GP-35V プロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor  
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

### 林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリーシリーズ



**イワフジ工業株式会社**

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7  
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!  
詳しくは当社ホームページをご覧ください [www.iwafuji.co.jp](http://www.iwafuji.co.jp)

**Yashima**  
豊かな緑を次代へ

# 自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生動物から大切な  
植樹木を守る**

ツリーセーブ  
ヤシマレント

**盗みされ防止**

ハチノックL (網隠し)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る  
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマミバイン乳剤  
ヤシマミバインMC  
グリーンガードエイト  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートSC  
マツグリーン液剤2

**くん蒸用生分解性シート**

ちゆらシート (茶・白)  
NCSシート (透明)  
与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリアバック使用)



**ヤシマ産業株式会社**

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164  
東北営業所 〒994-0061 山形県天童市東芳賀2-1-1 (協友アグリ(株)内) TEL.023-655-2969 FAX.023-655-4449

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

## 機器はゼノアから

排気量 **18.3cm<sup>3</sup>**

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



**G2000T** EZ-START  
20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)  
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm<sup>3</sup>**

さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



**G4211EZ** EZ-START  
40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)  
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを  
追求したハンドルと  
思いのアクセルワークが  
可能なトリガーレバー。



**BC2711DW1-EZ**  
・防振ハンドルブラケット  
・トリガーレバータイプ  
チップソー ¥79,380(税込)  
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店  
**(有)うねめ林業機械**

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1